

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1086	(H.24)No.	1086
-----------	------	-----------	------

事務事業名	ごみゼロ・リサイクル推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
生活環境部	環境対策室	名和健治	63-7496
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 18 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2 美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2 循環型社会の創造
	施 策	2 ごみの減量化とリサイクル
	小 施 策	1 ごみの減量化
重点施策コード	4-1.資源循環型社会の構築(廃棄物の減量・資源化の推進)	

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	271501
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 衛生費	ごみゼロ・リサイクル推進事業	
項 清掃費	(小事業名)	
目 ごみ対策費	ごみゼロ・リサイクル推進事業	

## 3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別、減量化に向けた啓発の実施</li> <li>・ごみ分別ガイドブックの作成や外国人向け日程表の作成</li> <li>・紙おむつ専用ごみ袋の購入とボランティア専用ごみ袋の作成、配布</li> </ul>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>環境と共生する資源循環型社会を目指し、ごみの減量化、資源化の促進に向けた啓発等を実施することにより、真のごみゼロ社会を構築します。</p>
--	---

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		
主な事業の実績・計画	・ごみ分別啓発 52千円 ・外国語版日程表翻訳 117千円 ・紙おむつ専用袋購入 7,000千円 ・収集日程表印刷 149千円 ・ボランティア袋作成 1,063千円 ほか		・ごみの分別啓発 118千円 ・外国語版日程表翻訳 210千円 ・紙おむつ専用袋購入 7,000千円 ・ボランティア袋作成 500千円 ・修繕料 135千円 ほか		
直接事業費	9,585千円	8,651千円	9,000千円	9,000千円	9,000千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他( )	58	5	48	5	48
一般財源	(0) 9,527	8,646	8,952	8,995	8,952
人工数					
職員	0.53人	0.65人	0.65人	0.65人	0.65人
臨時職員等	0.20人	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人
概算人件費	(0千円) 4,209千円	5,170千円	5,170千円	5,170千円	5,170千円
+ 総事業費	(0千円) 13,794千円	13,821千円	14,170千円	14,170千円	14,170千円

現在の実施手法(複数選択可)		
市が直接実施		
業務委託(全部・一部)により実施		
指定管理		
補助金・交付金		
その他 ( )		

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	環境学習会等による啓発実施回数	回	-	-	-	25
	実績			2	5	7	17
活動指標	目標	家庭から排出される一人一日あたりの燃やすごみの量	g	-	-	-	335.0
	実績			364.7	358.6	353.0	355.0
活動指標	目標	家庭から排出される一人一日あたりの燃やさないごみの量	g	-	-	-	37.1
	実績			37.6	31.7	38.1	38.9

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
平成20年度のごみ有料化により、ごみの排出量が大きく減少したが、現在は減少率は停滞している。	第4次のごみゼロ社会を目指すアクションプログラムによりさらなるごみ減量の行動計画を策定する。

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・高齢者等ににわかりやすいごみ収集日程表を作成する必要がある。	・ごみ収集日程表をわかりやすいカラー版を検討する。 ・外国語版日程表翻訳のコスト減の努力行う。

### 8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	地域と連携、協働したごみ減量、資源化、環境美化対策を進める。
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映を予定	地域での特色ある環境活動を反映する。
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項